

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
前田 拓生			
A (会計学科)	S (専門科目)	FN (金融)	302 (上級科目)

授業のねらい (概要)	金融・資本取引のグローバル化及び自由化が進み、一般投資家にとっても投資環境はかなり改善したが、証券等の価格変動は激しさを増している。このような投資環境の中で投資家の意思決定メカニズム（資産運用理論）を理解する必要性が高まってきている。本講義では、まず、資産運用に関する理論発展の歴史や基礎概念を概観した後、株式・債券等の運用に関する基礎理論とその実践への応用について学習する。そして、最適資産配分戦略の基礎理論を習得し、実践への応用についても学ぶ。 本科目では、DPに掲げた「財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力」を養うことを目的とする。具体的には、資産運用理論の誕生と発展や現代投資理論の誕生と普及など資産運用に関する理論発展の歴史と基礎概念について概説したうえで、株式投資の基礎理論や株式の価格変動要因など株式運用の基礎理論と実践への応用及び債券運用の基礎理論や金利の期間構造とモデル化など債券運用の基礎理論と実践への応用について学ぶとともに、最適資産配分戦略の考え方や最適資産配分の方法など最適資産配分戦略の基礎理論と実践への応用について学習する。なお、ESG投資等についても議論する
授業計画	<p>第1回 資金運用論とは 本講義の目的の他、イントロダクションとして資金運用論の概要を解説し、授業の進め方・注意事項等についても説明する。 予習 (120分)：本シラバスを熟読する 復習 (120分)：資金運用についてネット等で調べる</p> <p>第2回 証券投資理論の発展と投資技法の進化① MM理論について学ぶ 予習 (120分)：トレードオフについてネット等で調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第3回 証券投資理論の発展と投資技法の進化② CAPMとアセット・アロケーションについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第4回 証券投資のリターン 証券投資で発生するリターンについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第5回 ROEと株価評価 自己資本利益率 (ROE) と株価評価について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第6回 株式投資のリスク 株式投資で発生するリスクについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第7回 利回りと債券価格 債券利回りと債券価格に存在するトレードオフ関係について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日のFWで学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第8回 金利の期間構造の理論 金利の期間構造について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第9回 債券投資戦略 債券に投資する際の戦略について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第10回 社債の分析 社債の分析方法等について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第11回 ポートフォリオ・マネージメントの基本原則 基礎的なポートフォリオ・マネージメントについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第12回 投資方針 資金運用の際の投資方針について学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第13回 アセット・アロケーションの理論 基本的なアセット・アロケーションについて学ぶ 予習 (120分)：本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分)：本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>第14回 戦略的アセット・アロケーション</p>

第15回	<p>戦略的アセット・アロケーションについて学ぶ 予習 (120分) : 本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分) : 本日の講義で学んだことをノート等にまとめる</p> <p>総括 これまでの講義を総括する 予習 (120分) : 本講義レジュメを事前に読み、不明な箇所について調べる 復習 (120分) : これまで学んだことをノート等にまとめる</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP(商学部会計学科)の以下の項目を意識した科目となっている。 財務分析を行い、経営改善に関する助言を行える能力</p> <p>【身に付くスキル】 協働力・創造的思考力</p>
到達目標	<p>下記の3つを到達目標に掲げる。 ①資産運用に関する基礎知識や用語を習得する。 ②株式・債券等の運用に関する基礎理論を理解し、実践への応用ができる。 ③最適資源配分戦略の基礎理論を習得し、実践への応用ができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>課題等を提出した場合、注意点等を赤字で記入の上、返却する</p>
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意をすること。①病気等やむを得ない欠席の場合には事前に担当教員に連絡をする。②欠席(公欠を含む)5回で履修放棄と見なす。③グループ討議等を指示された場合は、積極的に意見を述べ合い、時間内に発表できるよう全員で協力する。</p>
成績評価の方法・基準	<p>試験70%、学修意欲30%</p>
教科書	<p>教科書：特になし。講義レジュメで授業を行う。</p>
参考書・教材	<p>【参考書】参考書：榊原茂樹等(1998)『証券投資論 第3版』日本経済新聞社、井手正介(2008)『ビジネス・ゼミナール 株式投資入門』日本経済新聞社出版、ツヴィ・ボディ等(1999)『現代ファイナンス論』ピアソン、日本経済新聞</p> <p>【教材】講義では主にレジュメを利用して進行する予定である。その際はmellyからレジュメをダウンロードして使用すること。</p>
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p>
教員との連絡方法	<p>メール (アドレスは授業内で周知)</p>